

住んでよかった ゆたかな 安曇野を未来へ

安曇野市長選が1月11日に告示され、中山市長が無投票で当選し、1月20日に初登庁しました。急逝された太田前市長の思いを受け継ぎ「住んでよかったゆたかな安曇野」を未来へつなぐためにスタートを切った中山市長に展望を聞きました。

思いを引き継ぎ 未来を拓く

——市長に就任した今の気持ちを聞かせてください。

このたび、多くの市民の皆さまから力強いご支援をいただき、市長に就任いたしました。

私は副市長として、太田前市長が亡くなられる前日まで精力的に公務をこなされる姿を一番近くで見えてまいりました。それだけに、言葉に表せない喪失感がありました。しかし、私たちが立ち止まることは許されません。前市長が情熱を注いで描いた「愛する安曇

野の未来図」を途切れさせてはならないと強く決意しています。同時に、市民の皆さんの暮らしを守り抜くという使命感に、身が引き締まる思いです。

初登庁の日、拍手で迎えてくださった市民の皆さまや職員の方を見た時、対話を重ね、共に手を携えることでこそ「よりよい安曇野」が実現できると確信しました。

市民の皆さまの声に誠実に耳を傾け、職員と共に一丸となって、これまで培った行政経験とネットワークを注ぎ込み、「誰もが住んでよかったと思える安曇野」を目指して全力でまい進してまいります。

確かな財政基盤の確立

——今後のまちづくりの柱となるテーマを教えてください。

今回の市長選にあたり、前市長が掲げた「住んでよかったゆたかな安曇野」を継承し、未来へつなぐことを公約の柱といたしました。

その土台として私が重視するのが「持続可能な財政基盤の確立」です。いかなる政策を進める上でも、財源の確保は避けて通れません。補助事業の戦略的な活用や企業誘致、雇用の拡大を推し進め、市全体の経済的な地力を高めていく考えです。限りある財源を効果的かつ効率的に使い、前市長が二期目の公約に掲げた多くの施策を確実



初登庁式で職員に訓示

暮らしを守り 安曇野の価値を高める

——どのような施策を展開していきますか。

現在、物価高騰が市民生活や地域経済に大きな影を落としています。まずは国の臨時交付金などを最大限に活用し、スピード感を持って物価高対策を講じていきます。本年度実施する支援策を1月29日の市議会臨時会に提案し承認いただきました。（詳細は24ページ）

に実行に移すことで、安曇野の価値を最大限に引き出していきたくと考えています。

また、現在、通院時のみとなっている精神障がいをお持ちの皆さんの医療費を4月から入院時まで給付を拡大する準備を進めております。

さらに、世界農業遺産への登録やフィルムコミッション機能の強化、東部アウトドア拠点整備など安曇野の魅力を高め、市民の皆さんが地域に愛着を持っていただける多くの取り組みを引き続き行っていきます。

教育の分野では、老朽化が進んでいる豊科南小学校の改修・改築の方向性に関係者の皆さんと協議し早期に決めていきたいと思っています。

日々の安全・安心の積み重ねこそが「住んでよかった」という実感につながります。その思いを軸に令和8年度予算を編成し、市議会3月定例会に提案いたしました。

住んでよかった安曇野を 着実に未来へ

——最後に市民の皆さんへのメッセージを聞かせてください。

皆さまから託していただいた前市長の志、そして安曇野の未来を担う責任の重さを深くかみ締めています。

私は、市民の皆さまと共に一歩ずつ、誰もが誇りと豊かさを感じられる安曇野を形にしていきたいと考えてい



ます。自然・文化・産業が調和したこの安曇野を、共に育てていきます。皆さまの温かいご支援とご協力を、心からお願い申し上げます。

中山 栄樹（なかやま ひでき）

プロフィール
1952年5月2日生まれ。穂高柏原在住。日本大学卒。1977年穂高町職員になり、安曇野市役所（合併に伴い）で財政課長、市民環境部長、企画財政部長を歴任。2015年から安曇野市社会福祉協議会常務理事等を務め、2018年1月から2025年12月まで安曇野市副市長。本年1月19日に安曇野市長に就任。

太田寛前市長お別れの会

を開催します



昨年11月28日に急逝された太田寛前市長の生前の功績と故人へのしのび、お別れの会を開催します。 問 秘書広報課 TEL 71-2400

日 3月7日(土) 式典(関係者) 13:30~14:30
献花(一般) 15:00~17:00

場 豊科公民館ホール

他 供花は市で用意します。香典、供物はご遠慮ください。